

特集

横浜の人口を読む

横浜市政策局政策課

vol. 175

調査報
季報

横浜市の人口は、戦後70年にわたり、増加の一途を遂げてきた。しかし、人口増加の内実は一様ではなく、時代や地域により異なる。今号の特集「横浜の人口を読む」では、人口の「読み方」を具体的に多角的に示すことにより、今後の人口に関する政策論議の共有基盤づくりへの寄与を目指す。

また、特集に続いて、旭区で先駆的に行われている市立保育所への臨床心理士配置の実践報告、「自治体文化資本」という新たな概念を提起する文化振興課主任調査員による野心的な論文、横浜の水辺活用についての有志職員からの提言、以上3本の論文を掲載する。